

井上古墳群 現地説明会資料

令和8年8月22日（土） 島根県埋蔵文化財調査センター

島根県埋蔵文化財調査センターでは、松江北道路改築事業に伴う発掘調査を行っています。本日は、松江市下東川津町の井上古墳群の発掘調査の成果を公開します。

今年度の調査と成果

（１）調査箇所 松江市下東川津町

（調査面積 １区：約1,660㎡、２区：約1,900㎡）

（２）調査期間 令和8年6月3日～令和8年9月下旬（予定）

（３）現在までの主な調査成果

- ・ １区では古墳時代前期の古墳２基を確認しました。
- ・ 古墳はもともとの形を保ってはいませんでした。一辺10m前後の方墳と考えられます。
- ・ ２号墳では埋葬施設を確認しました。現在調査中です。また、２号墳と３号墳の間には、古墳を区画するための溝を確認しました。
- ・ 古墳時代前期の土器（土師器：約1,700年前）が出土しました。種類は鼓形器台（つづみがたきだい）、壺や甕の胴部などです。
- ・ ２区では奈良・平安時代の土器が見つかっています。

（４）まとめ

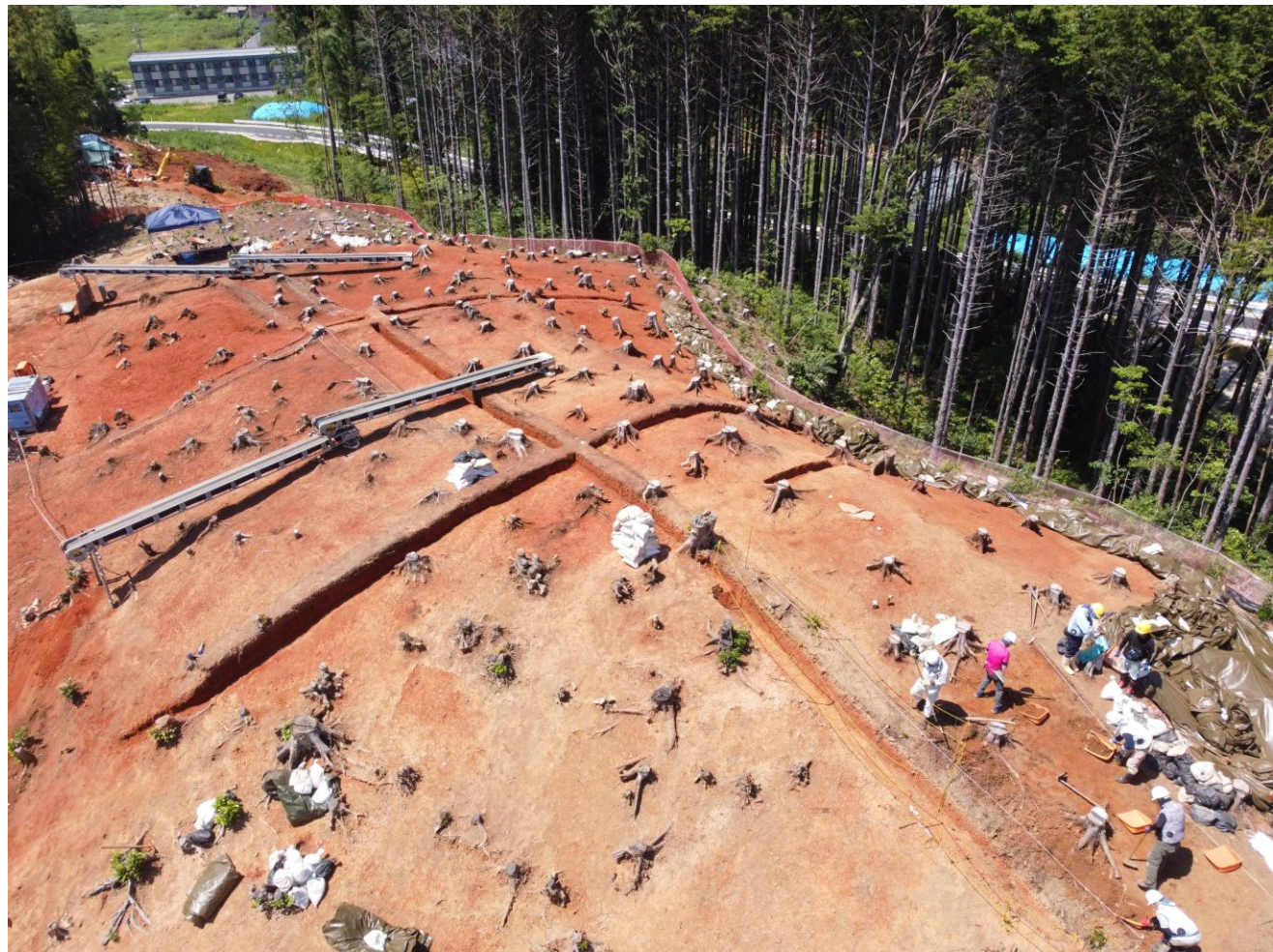
古墳時代前期の古墳を２基確認しました。持田・川津地区には、同時期の古墳が多く分布していますが、古墳はいずれも10m程度の大きさと、約1～2kmの範囲ごとに造られていることが判明しました。古墳時代前期のこの地区には同規模の小集団が複数存在していたと考えられます。



井上古墳群と周辺の遺跡・古墳



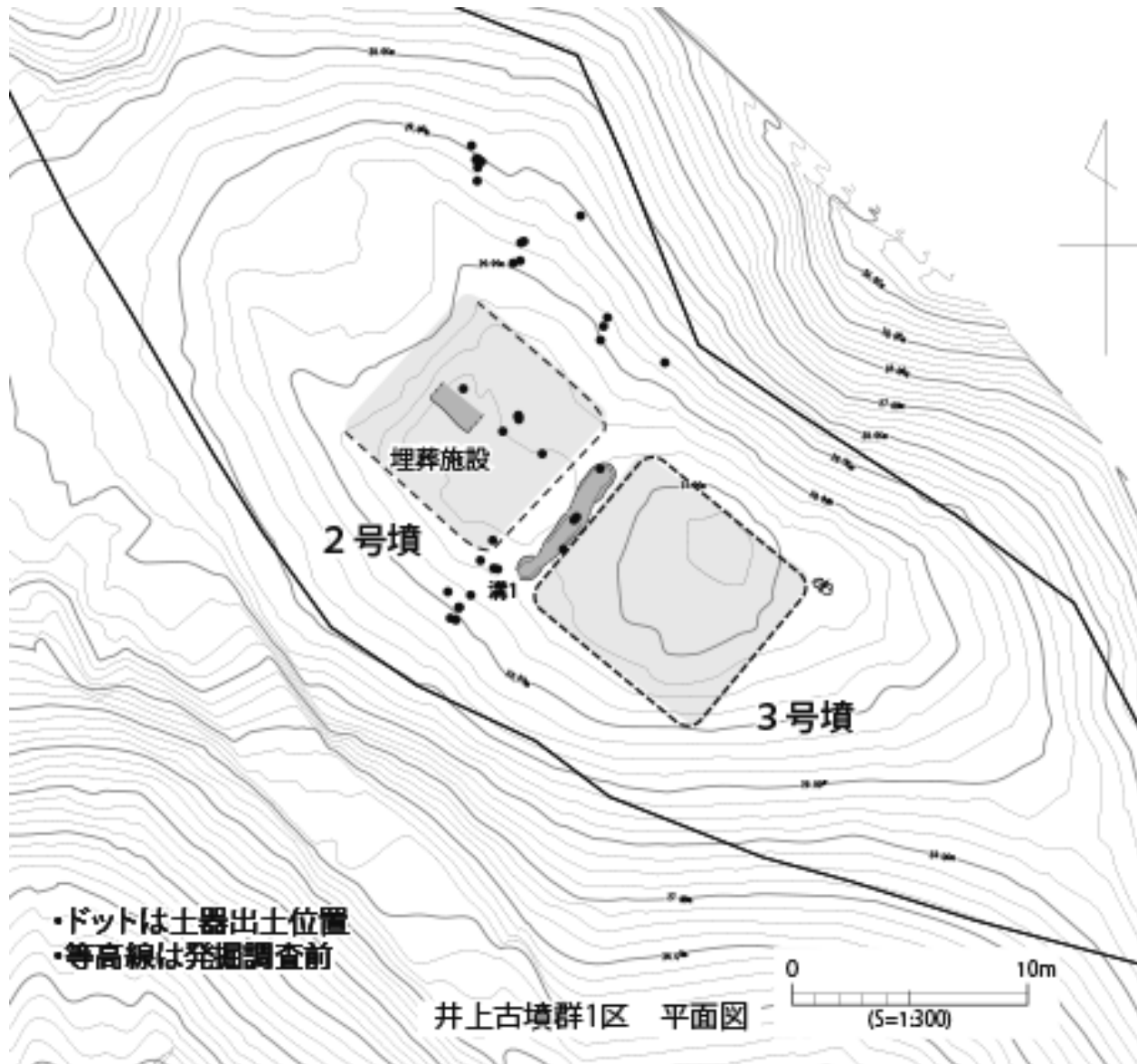
井上古墳群の位置



井上古墳群 I 区全景（東から）



井上古墳群 I 区 土器出土状況



※写真は安来市竹ヶ崎遺跡
出土の鼓形器台

出土土器

島根県埋蔵文化財調査センター
松江市打出町33
0852-36-8608